



月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

95.10.23 No. 4281

勝浦運転区廃止攻撃粉碎へ スト体制確立を! 4の課題

全方へ

千葉支社は、鴨川運輸準備区へのJR総連組合員の送り込みを強行している。新たに千葉運転区からも三名が発令されようとしている。いまや、鴨川運輸区新設攻撃の正体は一点の曇りもなく明らかだ。

しかし問題は、企業としての論議すらなげり捨てて、なぜここまでやらなければならぬのかということである。JR東日本の革マル結託体制が断崖絶壁まで追いつめられているのだ。松田―松崎体制は、道理がないことは百も承知の上で、このよう無茶苦茶なやり方のなかに、唯一の延命の道を探っている。攻撃の弱点もここにある。ここを突き、暴露し、JR体制を揺るがす闘いに起とう!

われわれはこの間、勝浦・御宿の選挙闘争に勝利し、勝浦市の有権者の七割にも及ぶ署名を集めるなど、総力をあげた闘いをやりぬいた。この闘いは、当局に大きな打撃を与えている。また十月四日には、千葉地労委に不当労働行為の申立てを行な

鴨川への本線運転士送り込み

| | | |
|-------|--------|----|
| 千葉支社 | 習志野運輸区 | 7名 |
| | 京葉運輸区 | 2名 |
| | 千葉運転区 | 3名 |
| 東京職本社 | 中野電車区 | 3名 |
| | 東京電車区 | 1名 |
| | 品川電車区 | 1名 |

い、新たな闘いを開始した。そして、第二回大会において、ストライキに決起する方針を決定した。これからの勝負! 全力で闘争体制をつくりあげよう!

こんな卑劣なやり方が許せるか

この闘いは、第一に、何よりも、JR当局とJR総連一体となつて勝浦運転区を廃止し、勝浦支部をつぶし、支部組合員をバラバラに強制配転しようとする卑劣な攻撃に対する闘いだ。こんな明白な不当労働行為を黙っているわけにはいかない! 労働者を虫けらのように扱うことをいとわないようなやつらを断じて許すことはできない。

この攻撃は、国鉄分割・民営化の際の成田運転区廃止以来の重大な攻撃だ。われわれは、分割・民営化攻撃に対するわれわれの渾身のストライキが、それ以降の情勢を切りひらいたことを今一度思い起こし、組織の総力をあげた闘いに起ちあがる必要がある。勝浦支部の組合員の怒りを全組合員のものとしてストライキに起ちあがろう! 勝浦運転区廃止攻撃を「JR体制」の墓穴としよう!

解雇撤回、強制配転粉碎―一切の課題をにかけて

このストライキの課題は第二に、崩壊の危機にたつ「JR体制」をわれわれの力でつき崩すことである。この闘いをもって、JRの革マル結託体制に最後の引導を渡し、崖の底につき落とさなければならぬ。われわれは、この闘争のなかに、勝浦運転区の廃止問題のみならず、一切の課題の勝利の展望をかけて起ちあがる必要がある。

第一波・二波ストライキに対する二八名の解雇撤回の闘い、清算事業団一二名の解雇撤回に向けた闘いが、いよいよ敵を追いつめ、勝利をこの手にかちとることができると否かの剣が峰にきている。勝浦運転区廃止攻撃粉碎のストライキは、「JR体制」を揺るがし、全員の解雇撤回に向けた勝利の展望をたぐりよせる闘いでもある。

「十年目」に向けた反撃を開始しよう!

第三に、この闘いは、分割・民営化体制の再編が本格的に開始されようとしていることに対するわれわれの反撃の開始の宣言でもある。とくに、貨物では、「フレイト二一」と称する合理化計画に基づいて、来年三月ダイ改から、再来年のダイ改に向けて、基地や貨物輸送体制を抜本的に再編しようとする攻撃が仕掛けられようとしている。「十年目の総括評価」は目前だ。われわれは、「十年目」を反動的にのり切ろうとする一切の動きに対し、この闘いをもって反撃を開始する決意である。

全国の仲間呼びかけよう!

第四に、この闘いは、大失業攻撃が、全社会で吹き荒れようとしている事態のなかで、すべての闘う仲間たちに対する呼びかけでもある。われわれは、このストライキによって、「動労千葉」とともに闘おう! 「闘う労働運動をよみがえらせよう!」労働者の団結をとり戻そう! 全国の仲間たちに呼びかけたのと考えている。十一・五全国労働者総決起集会から、勝浦運転区廃止攻撃粉碎に向けた十一月闘争の総決起しよう!